

PassLeader

PassLeader

> Contact Us Login / Register Search...

HOME

ALL VENDORS

★ GUARANTEE

? FAQ

TESTIMONIALS

CART (1)



Try **PDF Demo** before you buy

We're not the only ones **happy** about PassLeader Practice Material ...

63159+ customers in 100+ countries use PassLeader Test Engine. Meet our customers.

VOREED

GetCustom

JET ORANGE

iCompany

Paradoxx

iMessenger



<http://www.passleader.top/>

Latest Exam Guide & Learning Materials

Exam : **1Z0-997-20-JPN**

Title : Oracle Cloud Infrastructure
2020 Architect Professional
(1Z0-997-20日本語版)

Vendor : Oracle

Version : DEMO

QUESTION NO: 1

オンライン登録システムは現在、ユーザーのデータを格納するためのブロックボリュームが接続された1つの大規模なOracle Cloud

Infrastructure (OCT) ベアメタルコンピューティングインスタンスでホストされています。登録システムは、ユーザーからの情報を受け取ります。ドキュメントや写真を含め、自動検証と処理を実行して、ユーザーが登録の資格があるかどうかを確認します。

システムを使用するユーザーが急増すると、システムが処理を完了するのに長い時間がかかり、接続されたブロックボリュームがによってアップロードされたデータを使用するのに十分な大きさではないため、既存のアーキテクチャを改善する必要がある場合、登録システムはすぐに使用できなくなりますユーザー。

高度にスケーラブルなソリューションを実現するための最も効果的なオプションはどれですか？

A. データボリュームの増加に応じてより多くのブロックボリュームをアタッチし、Oracle Notification

Service (ONS) を使用して並行して動作するコンピューティングインスタンスのプールにタスクを分散し、AutoScalingを使用して通知の数に応じてインスタンスのプールのサイズを動的に設定します通知サービスから受信しました。 Resource Managerスタックを使用して、アーキテクチャを別のリージョンに複製します。

B. OCI Object

Storageの標準階層バケットを使用するようにアーキテクチャを変更し、単一のベアメタルインスタンスをOracle Streaming

Service (OSS) に置き換えて、受信リクエストを取り込み、自動スケーリングを使用してタスクをコンピューティングインスタンスのグループに分散します

C. ベアメタルサーバーのプールを使用するようにアーキテクチャをアップグレードし、ローカルSSDを使用してデータアクセスを高速化するように構成します。 OracleStreamingService (OSS) を設定して、自動スケーリングを使用してベアメタルインスタンスのプールにタスクを分散します。 ストリーミングキューの長さに応じて、計算インスタンスのプールを動的に増減します。

D. アーキテクチャをアップグレードして、データボリュームが増加するにつれてより多くのブロックボリュームを使用するようにします。 単一のベアメタルインスタンスをAutoScalingを使用したコンピューティングインスタンスのグループに置き換えて、トラフィックに応じてコンピューティングインスタンスプールを動的に増減します。

Answer: D

QUESTION NO: 2

管理者として、ObjectWritersグループのユーザーに、バケットBucket-

Aとコンパートメントcomp-

images内のそのオブジェクトへのフルアクセスを許可する必要があります。

ObjectWritersのユーザーが、コンパートメントcomp-

images内の他のバケットとそのオブジェクトのプロパティにアクセスしたり変更したりできないようにする必要があります。

IAMポリシーを最もよく定義する以下のステートメントを選択してください。

A. グループObjectWritersがコンパートメントcomp-

images内のバケットを管理できるようにするグループObjectWritersがコンパートメントcomp-images内のオブジェクトを管理できるようにするtarget.bucket.name = 'Eucket-A'

- B.**グループObjectWritersがコンパートメントcomp-images内のバケットを管理できるようにします。target.bucket.name= 'Bucket-A'
- C.**グループObjectWritersがコンパートメントcomp-images内のバケットを検査できるようにするグループObjectWritersがコンパートメントcomp-images内のバケットを読み取ることができるようにするtarget.bucket.name = 'Bucket-A'
- "グループObjectWritersがコンパートメントcomp-images内のオブジェクトを管理できるようにするtarget.bucket.name = 'バケット-A'
- D.**グループObjectWritexsがcompartmentcomp-imagesのバケットを読み取れるようにするグループObjectWritersが、target.bucket.name = 'Bucket-A'であるコンパートメントコンプライメージ内のオブジェクトを管理できるようにします。

Answer: C

QUESTION NO: 3

あなたのチームは、最近の計画外の停止に続いて、根本分析 (RCA) を実施しています。本番WebLogicサーバーに接続されているブロックボリュームの1つが削除され、アクションのソースを特定するタスクがありました。監査ログを検索して、過去24時間に発生したいくつかの削除アクションを見つけます。このイベントのサンプルを考えてみましょう。

```
"event":{
"tenantId":"ocidl.tenancy.ocl..aaaaaaaaymp6954bqkimnbuciaaslaaaaa"
"ompartmentId":"ocidl.compartment.orl..aaaaaaaav4x6wimindk7znpuAlaaa"
"compartmentName":"Production"
"eventld":"14a87512 dbrille),A06-041027d191/9"
"eventName":"DeloteVolume"
"eventSource":"BlockVolames"
"eventType":"ServiceAPI"
"principalld":"ocidl.user.ocl..aaaaaaaig1Skkeib62pz3ualqwy6otzd7daaqaaaaa"
"credentialId":""
"requestAction":"DELETE"
"requestId":"csid06406dob4a7999cecId51604ce52/f79253t181thilb36blad34bM51040/FA112B6BFFOK3011165F6SUM00"
"requestAgent":"Mozilla/5.° (Windows NT 10.0; •Win64; x64) ApploWebKit/531.36 WM, like Gecko) Chrome/15.0.377.14..."
"requestHeaders": {...
}
"requestOrigin":"129.254.11.219"
"request Resource":"/20160918/volumes/ociAl.volume.ocl.iad.abuwcljtxksq424tohccpilbzz13w)rrij2ezissSes105125kzxliq"
"responsoStatus":"204"
```

イベントログのどの項目が、DeleteVolumeAPI呼び出しを開始した個人またはサービスを識別するのに役立ちますか？

- A.**requestAgent
- B.**eventource
- C.**principalld
- D.**requestOrigin
- E.**eventld

Answer: C

Explanation:

The Oracle Cloud Infrastructure Audit service automatically records calls to all supported Oracle Cloud Infrastructure public application programming interface (API) endpoints as log events. Currently, all services support logging by Audit.

Every audit log event includes two main parts:

Envelopes that act as a container for all event messages

Payloads that contain data from the resource emitting the event message The identity object contains the following attributes.

data.identity.authType The type of authentication used.

data.identity.principalId The OCID of the principal.

data.identity.principalName The name of the user or service. This value is the friendly name associated with principalId .

QUESTION NO: 4

Oracleインフラストラクチャ (OCI) の自律型トランザクション処理サーバーレス (ATP-S) のデプロイメントに適した3つのシナリオはどれですか？

- A. 確立されたオンラインオークションマーケットプレイスは、データベースの使用量が24 * 7であるが、ピークがいつ発生するかを予測するのが難しいアクティビティのピークがあるアプリケーションを実行しています。アクティビティの合計は、通常のアクティビティレベルの3倍に達する可能性があります (正しい)
- B. 小さなスタートアップがeコマースで新しいアプリケーションを展開しており、新しいアプリケーションであるため、負荷がどのようになるかについてチームbが顧客のトランザクションを保存するためのデータベースが必要です。 (正しい)
- C. 中堅企業は、オンプレミスのレガシーMongoDBデータベースをOracle Cloud Infrastructure (OCI) に移行することを検討しています。データベースのワークロードは、平日よりも週末の方が大幅に高くなっています。
- D. 内部プロジェクトに取り組んでいる開発者は、勤務時間中にデータベースを使用する必要がありますが、夜間や週末にはデータベースを使用する必要はありません。プロジェクトの予算では、彼女はコストを低く抑える必要があります。 (正しい)
- E. 製造会社がオンプレミスでOracle E-BusinessSuiteアプリケーションを実行しています。彼らは、このアプリケーションをOCIに移行することを検討しており、データベース層にマネージドデータベースオフリングを使用したいと考えています。

Answer: A,B,D

Explanation:

MongoDB is a cross-platform document-oriented database program. Classified as a NoSQL database program, MongoDB uses JSON-like documents with schema, so the best to be migrated to Oracle NoSQL Database.

<https://blogs.oracle.com/nosql/migrate-mongodb-data-to-oracle-nosql-database> Autonomous transaction Processing Serverless (ATP-S) isn't supported yet for EBS database

QUESTION NO: 5

Oracle Cloud

Infrastructureでのネットワーク設計の計画の一環として、各可用性ドメインに1つずつ、合計3つのサブネットを持つOracle Cloud Infrastructure Virtual Cloud

Network (VCN) を作成するように依頼されました。各サブネットには、少なくとも64個の使用可能なIPアドレスが必要です。

この設計を実装するために使用する必要がある最小のサブネットとVCNサイズはどれくらいですか？要件は静的であるため、成長は見込まれません。

- A. VCNの場合は122。サブネットの場合は124
- B. VCNの場合は/ 23;サブネットの場合は/ 25
- C. VCNの場合は/ 24。サブネットの場合は/ 24
- D. VCNの場合は/ 22;サブネットの場合は/ 25

Answer: B

QUESTION NO: 6

Eコマース企業は、Oracleデータベース用のWebアプリケーションをOracle Cloud Infrastructure (OCIJ DB

Systems) にデプロイしたいと考えています。ビジネスのビジネス継続性プログラムに準拠して、1時間のリカバリポイント目標 (RPO) を提供する必要があります。

5分のリカバリ時間目標 (RTO) 。 Webアプリケーションは、リージョン内で高い可用性を備え、リージョンが停止した場合のRTOおよびRPOの要件を満たしている必要があります

。このシナリオに最も適切で費用効果の高い構成はどれですか？

A.1つのリージョンに1ノードのVM Oracleデータベースをデプロイし、Oracle Data Guardの手動セットアップと構成を使用して、データベースを別のリージョンの1ノードのVM Oracleデータベースに複製します。

B.1つのリージョンに2ノードの仮想マシン (VM) Oracle RACデータベースをデプロイし、Oracle Data Guardの手動セットアップと構成を使用して、データベースを別のリージョンの2ノードVM Oracle RACデータベースに複製します。

C.あるリージョンに自律型トランザクション処理 (サーバーレス) データベースをデプロイし、Oracle

GoldenGateを使用して別のリージョンの自律型トランザクション処理 (サーバーレス) データベースに複製します。

D.1つのリージョンに1ノードのVM Oracleデータベースをデプロイします。

1時間ごとのデータベースバックアップを取るように、Recovery Manager (RMAN) データベースバックアップスケジュールを手動で構成します。データベースのバックアップを別のOCIリージョンのオブジェクトストレージに非同期的にコピーします。プライマリOCIリージョンが使用できない場合は、他のOCIリージョンで新しい1ノードVMデータベースを起動し、バックアップから本番データベースを復元します。

Answer: B

QUESTION NO: 7

あなたは大手メディア企業のクラウドコンサルタントとして働いています。米国とクライアントは、すべてのログストリーム、アクセスログ、アプリケーションログ、およびセキュリティログを単一のシステムに統合することを要求しました。

クライアントは、ヒューリスティックに基づいてすべてのログをリアルタイムで分析したいと考えており、結果も検証する必要があります。この検証プロセスでは、過去8時間から抽出されたデータサンプルに戻る必要があります。

このシナリオではどのようなアプローチを取る必要がありますか？

A.ログをオブジェクトストレージに保存するコンピューティングインスタンスを使用して、syslog対応サーバーの自動スケーリングプールを作成し、マップリデュースジョブを使用してオブジェクトストレージからログを抽出し、ログにヒューリスティックを適用します。

B.syslog対応サーバーをホストしてログを処理し、ローカルに接続されたNVMe SSDにログを保存して、必要に応じてログを迅速に取得するのに十分な大きさのペアメタルインスタンスを作成します。

C.OCI監査サービスをセットアップし、監査サービスからクライアント側アプリケーション

にすべてのAPI仮種皮を実用的に取り込み、ヒューリスティックを適用して結果をOCIオブジェクトストレージに保存します。

D. イベントサービスのすべてのログとクラウドイベントをOracle StreamingServiceにストリーミングします。ログにヒューリスティックを適用するクライアントプロセスを構築し、それらをオブジェクトストレージに保存します。

Answer: D

Explanation:

The Oracle Cloud Infrastructure Streaming service provides a fully managed, scalable, and durable storage solution for ingesting continuous, high-volume streams of data that you can consume and process in real time. Streaming can be used for messaging, ingesting high-volume data such as application logs, operational telemetry, web click-stream data, or other use cases in which data is produced and processed continually and sequentially in a publish-subscribe messaging model.

Streaming Usage Scenarios

Here are some of the many possible uses for Streaming:

Metric and log ingestion: Use the Streaming service as an alternative for traditional file-scraping approaches to help make critical operational data more quickly available for indexing, analysis, and visualization.

Messaging: Use Streaming to decouple components of large systems. Streaming provides a pull/bufferbased communication model with sufficient capacity to flatten load spikes and the ability to feed multiple consumers with the same data independently. Key-scoped ordering and guaranteed durability provide reliable primitives to implement various messaging patterns, while high throughput potential allows for such a system to scale well.

Web/Mobile activity data ingestion: Use Streaming for capturing activity from websites or mobile apps (such as page views, searches, or other actions users may take). This information can be used for realtime monitoring and analytics, as well as in data warehousing systems for offline processing and reporting.

Infrastructure and apps event processing: Use Streaming as a unified entry point for cloud components to report their life cycle events for audit, accounting, and related activities.

QUESTION NO: 8

オンラインゲームアプリケーションは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) のus-ashburn-1リージョンの複数の可用性ドメインにデプロイされます。ゲームアプリケーションが処理する大量のトラフィックを考慮して、同社は、アプリケーションによって保存されるデータがスケラブルで、可用性が高く、災害に強いことを保証するためにあなたを雇いました。障害が発生した場合、目標復旧時間 (RTO) と目標復旧時点 (RPO) は2時間未満である必要があります。

システム障害が発生した場合にRTOおよびRPO要件を達成するには、どのディザスタリカバリ戦略を使用する必要がありますか？

A. OCIコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、1時間ごとのブロックボリュームバックアップを構成します。

B. ブロックボリュームの毎日のバックアップを生成するスケジュールを使用して、ユーザー定義のバックアップポリシーを作成します。

C. OCI

StorageGatewayサービスを介して1時間ごとのブロックボリュームバックアップを構成しま

す。

D. ブロックボリュームの1時間ごとのバックアップを生成するスケジュールでユーザー定義のバックアップポリシーを作成します。

Answer: A

QUESTION NO: 9

クラウドコンサルタントは、OCIの実装プロジェクトに取り組んでいます。コンプライアンス要件の一部として、オブジェクトストレージに配置されたオブジェクトは、最初に自動的にアーカイブされてから削除される必要があります。彼はオブジェクトストレージのライフサイクルポリシーをテストしており、次のようなポリシーを作成しました。

```
[ { "name": "Archive_doc", "action": "ARCHIVE", "objectNameFilter": { "inclusionPrefixes": "doc" },
  "timeAmount": 5, "timeunit": "DAYS", "isEnabled": true },
  { "name": "Delete_doc", "action": "DELETE", "objectNameFilter": "inclusionPrefixes": [ "doc" ]
  1."timeAmount": 5, "timeunit": "DAYS", "isEnabled": true }
```

このポリシーが適用された後はどうなりますか？

- A. 名前が「doc」で始まるすべてのオブジェクトは、オブジェクトの作成から5日後に削除されます
- B. ファイル拡張子が「.doc」のすべてのオブジェクトは5日間アーカイブされ、オブジェクトの作成から10日後に削除されます
- C. ファイル拡張子が「.doc」のすべてのオブジェクトは、オブジェクト作成の5日後にアーカイブされます
- D. 名前が「doc」で始まるすべてのオブジェクトは、オブジェクトの作成から5日後にアーカイブされ、アーカイブの5日後に削除されます。

Answer: A

Explanation:

Object Lifecycle Management works by defining rules that instruct Object Storage to archive or delete objects on your behalf within a given bucket. A bucket's lifecycle rules are collectively known as an object lifecycle policy.

You can use a rule to either archive or delete objects and specify the number of days until the specified action is taken.

A rule that deletes an object always takes priority over a rule that would archive that same object.

QUESTION NO: 10

小売企業は、オンラインショッピングプラットフォームを完全にOracle Cloud Infrastructure (OCI) で実行しています。これは、Mbpsロードバランサーを含む3層のWebアプリケーションです。WebおよびOracleDB

Systems仮想マシンの仮想マシンインスタンス前例のない成長により、Webサイトへの着信トラフィックの増加に気づき、すべてのユーザーが503 (Service Unavailable) エラーを受け取り始めました。

このシナリオの潜在的な問題は何ですか？

- A. ロードバランサーのヘルスチェックステータスバックエンドウェブサーバーの半分の重大な状況を示します
- B. すべてのWebサーバーがビジー状態であり、ユーザーからの要求に応答できません。

- C.データベースがダウンしているため、ユーザーはWebサイトにアクセスできません
- D.トラフィック管理ポリシーがWebサーバーへのトラフィックをロードバランサーにロードするように設定されていません。
- E.Webサーバー間の接続と負荷分散を許可するようにServiceGatewayを構成していません

Answer: B

Explanation:

A 503 Service Unavailable Error is an HTTP response status code indicating that a server is temporarily unable to handle the request. This may be due to the server being overloaded or down for maintenance.

QUESTION NO: 11

複数のOracleCloud

Infrastructure (OCI) リージョンにまたがるグローバルオーディエンスを対象とするWebアプリケーションをデプロイしました。

トラフィック管理ジオロケーションベースのステアリングポリシーを使用して、地域のクローゼットからユーザーにWebリクエストを提供することにしました。各リージョン内に、バックエンドセットに4台のサーバーを備えたパブリックロードバランサーをデプロイしました。

DRテスト中に、いずれかのリージョンのすべてのWebサーバーを無効にしますが、トラフィック管理はすべてのユーザーを他のリージョンに自動的に誘導しません。

考えられる原因はどれですか？

- A.ロードバランサーのサブネットに関連付けられたルートテーブルを設定していません
- B.無効な領域でロードバランサーのパブリックIPに関連付けられたHTTPヘルスチェックを設定していません。
- C.ジオロケーションベースのステアリングポリシーを使用するのではなく、フェイルオーバーポリシータイプを使用してトラフィックを処理する必要があります。
- D.他のリージョンで動作している2つのWebサーバーの1つがHTTPヘルスチェックに合格しませんでした
- E.バックエンドセットに関連付けられたロードバランサーHTTPヘルスチェックポリシーを正しく設定していません

Answer: B,E

Explanation:

Managing Traffic Management GEOLOCATION Steering Policies

Geolocation steering policies distribute DNS traffic to different endpoints based on the location of the end user. Customers can define geographic regions composed of originating continent, countries or states/provinces (North America) and define a separate endpoint or set of endpoints for each region.

The Health Checks service allows you to monitor the health of IP addresses and hostnames, as measured from geographic vantage points of your choosing, using HTTP and ping probes. After configuring a health check, you can view the monitor's results. The results include the location from which the host was monitored, the availability of the endpoint, and the date and time the test was performed.

Also you can Combine Managing Traffic Management GEOLOCATION Steering Policies with Oracle Health Checks to fail over from one region to another The Load Balancing service

provides health status indicators that use your health check policies to report on the general health of your load balancers and their components.

if you misconfigure the health check Protocol between the Load balancer and backend set that can lead to not get an accurate response as example below If you run a TCP-level health check against an HTTP service, you might not get an accurate response. The TCP handshake can succeed and indicate that the service is up even when the HTTP service is ly configured or having other issues. Although the health check appears good customers might experience transaction failures.

QUESTION NO: 12

小売企業には、地理的に複数の場所にまたがるオンプレミスのデータセンターがいくつかあります。彼らは、アプリケーションの一部をオンプレミスのデータセンターからOracle Cloud Infrastructure (OCI)に移行することを計画しています。

OCIで実行されているこれらのアプリケーションの場合でも、オンプレミスのデータセンターで実行されているアプリケーションとOracle Cloud Infrastructure (OCI)を介して対話する必要があります。

OCIで実行されているこれらのアプリケーションの場合。オンプレミスのデータセンターで実行されているアプリケーションとやり取りする必要があります。これらのアプリケーションには、オンプレミスのデータセンターとOCIの間に高可用性でフォールトトレラントなネットワーク接続が必要です。

最高レベルの冗長性を提供するために、どのオプションをお勧めしますか？

A.Oracle Cloud

Infrastructureはデフォルトでネットワークの冗長性を提供するため、他の操作は必要ありません

B.データセンターが複数の地理的な場所にまたがっている場合は、特定の地理的な場所の静的ルートとして特定のIPアドレスのみを使用します

C.オンプレミスのデータセンターをOracle Cloud

Infrastructureに接続するように、IPSecVPNとFastConnectの両方を設定します。

D.FastConnectプライベートピアリングは、データセンターからOracle CloudInfrastructureへの安全なアクセスを確保するためにのみ使用してください

E.単一のIPSec

VPN接続をセットアップします (費用効果が高いため、データセンターからOracle CloudInfrastructureへ)

Answer: B

Explanation:

If your data centers span multiple geographical locations, we recommend using a broad CIDR (0.0.0.0/0) as a static route in addition to the CIDR of the specific geographical location. This broad CIDR provides high availability and flexibility to your network design. For instance, the following diagram shows two networks in separate geographical areas that each connect to Oracle Cloud Infrastructure. Each area has a single on-premises router, so two IPSec VPN connections can be created. Note that each IPSec VPN connection has two static routes: one for the CIDR of the particular geographical area, and a broad 0.0.0.0/0 static route.

